

ベトナムにおける糖尿病足病変患者のフットウェア普及

- 現地の状況やニーズなどの背景情報: 日本と同様に、ベトナムにも糖尿病が急増し、足にキズを作り、足潰瘍や壊疽などの糖尿病足病変で下肢切断を余儀なくされる患者が増加している。特に素足にサンダルといった生活習慣が根強く残っており、足にキズを作りやすい生活環境にあるのが現状である。
- 事業目的: 日本の足のキズを予防するフットケア、フットウェア教育をベトナムに導入する。ベトナムを含めたASEAN 諸国の素足にサンダルといった生活習慣の改善を図る。
- 事業の概要: 佐賀大学とアサヒシューズ株式会社が共同研究で開発したメディカルシューズ(ベトナムで生産)を用いて、足のキズを予防するフットウェア教育をベトナムに導入する。ベトナムダナン病院の足診療に拘る医療従事者(医師、看護師、装具師等)の教育とその研修、ベトナムへの専門家派遣(医師、看護師、シューズ企業者等)を行い、ベトナム中部地区でのフットウェア普及を図る。
- 期待される成果とその後の波及効果: 佐賀大学とダナン病院で足のキズに対するガイドラインを導入し、ダナン病院の足診療に拘る医療従事者(医師、看護師、装具師等)に指導し、共同研究で開発したメディカルシューズを普及することで2025年までにベトナム中部地区で糖尿病患者の足の感染の軽減から下肢切断が減少する。

